

平成 **22** 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	特定種別には、 類 1500 kL未満の事業所のみを複数有し、合算で1500 kL以上となる特定事業者 類 1500 kL以上の事業所を1つ以上有する特定事業者 類 3年連続して1500 kL以上の事業所を1つ以上有する特定事業者 類 (任意) 1500 kL未満の事業所のみを有し、合算して1500 kL未満となる事業者
類	

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	株式会社 T & K TOKA
所在地	東京都板橋区泉町 20 - 4
事業者番号	初回提出時に県で付与
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	5,550
店舗面積 (該当する場合)	
産業分類名 (中分類)	化学工業
分類番号 (中分類)	16
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、資本金等)	各種印刷用インキ及び印刷用・塗料用・接着剤用合成樹脂の製造・販売、印刷関連諸資機材の販売 従業員数 : 358名(2010年3月31日現在) 資本金 : 20億6,012万円(平成22年3月31日現在) 延べ床面積 : 32,336 m ²
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)	

(3) 地球温暖化対策推進者（事業者で1人以上）

所属部署	電話番号
総務部・部長 山田 典幸	049 - 259 - 6511

（４）県内に設置している事業所

書ききれない場合は別添としてください。

事業所番号 初回提出時に県で付与	事業所名	前年度のエネルギー 原油換算使用量(kL)
単独で1500kL以上の事業所		
	株式会社 T & K TOKA 埼玉工場	5,550
1500kL未満の事業所の合算		
合計		5,550

（５）公表方法

<input checked="" type="checkbox"/> インターネット利用による公表	アドレス	http://www.tk-toka.co.jp/
<input checked="" type="checkbox"/> 埼玉県内の事業者又は事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	株式会社 T & K TOKA 埼玉工場 総務部
	所在地 1	埼玉県入間郡三芳町竹間沢 2 8 3 - 1
	閲覧可能時間 1	8 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0 (当社営業日)
	閲覧場所 2	
	所在地 2	
	閲覧可能時間 2	
<input type="checkbox"/> その他		

（６）公表の担当部署

名称 (複数可)	連絡先		
	電話番号	F A X 番号	E-mailアドレス
1 内部監査室	049-259-6669	049-259-6669	hinshitsu@tk-toka.co.jp
2			
3			

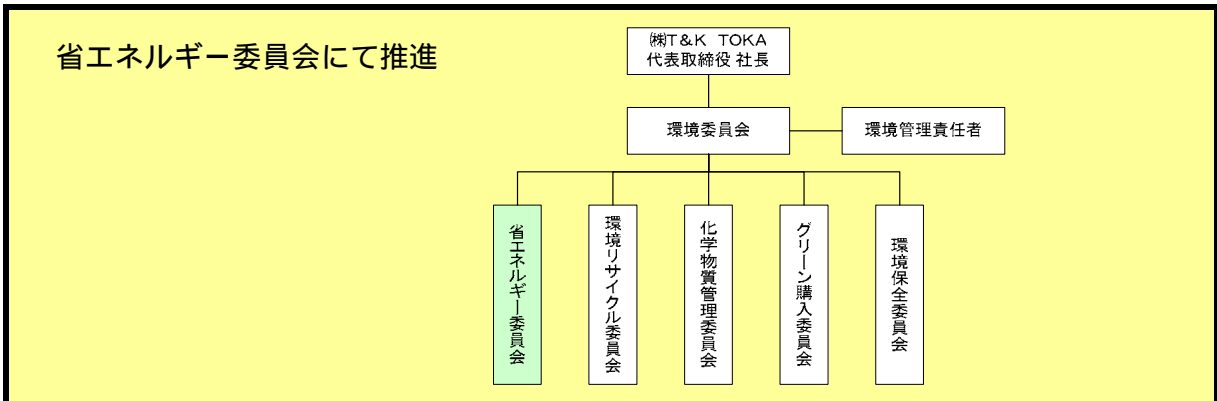
2 地球温暖化対策推進における基本方針 事業所ごとに定める場合は、事業所に記載する旨を記載

【環境方針】

当社は、T & K「Technology & Kindness」（技術と真心）を経営の基本理念とし、印刷インキ（T & K TOKA）並びに合成樹脂（富士化成工業）の分野において、常に、先進の技術と真心のこもったサービスにより、お客様にご満足いただける製品の提供を目指してきました。当事業所では、このT & Kの精神の実践として、更に「環境への配慮」を加え、積極的に環境保全の活動に取り組むこととします。その実施にあたり、基本方針を以下に定めます。

1. 資源・エネルギーの有効利用により削減を図ります。
2. 廃棄物の減量化・再資源化を推進します。
3. 環境負荷物質を管理し、環境負荷低減と原料から廃棄に至る製品のライフサイクルを通じて、環境に配慮した製品の開発に努めます。
4. グリーン購入（環境対応製品、環境対応企業からの優先購入）を実施します。
5. 継続的な環境改善及び汚染の予防に努めます。
6. 環境関連の法律・規制・協定等の遵守はもとより、必要な自主管理基準（顧客からの要求事項を含む）を定め、環境保全活動を推進します。
7. 全従業員の参加により、積極的に環境保全活動に取り組みます。

3 地球温暖化対策における推進体制 事業所ごとに定める場合は、事業所に記載する旨を記載



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t -CO₂）

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源CO ₂					
非エネルギー起源CO ₂					
その他温室効果ガス					

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成 22 年度

事業所番号

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	B 年間原油換算使用量1,500kL以上の事業所（Cの事業所を除く） C 検討中 （例：3年度連続年間原油換算使用量1,500kL以上の事業所）
B	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	株式会社 T&K TOKA 埼玉工場		
所在地	〒354-8577 埼玉県入間郡三芳町竹間沢283-1		
直近3年のエネルギー 原油換算使用量(k)	21年度	20年度	19年度
	5,550	5,030	5,070
産業分類名(中分類)	化学工業		
分類番号(中分類)	16		
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、 敷地面積、延べ床面積等)	各種印刷用インキ及び印刷用・塗料用・接着剤用合成樹脂 の製造・販売、印刷関連諸資機材の販売 従業員数： 358名(2010年3月31日現在) 延べ床面積： 32,336㎡		
商標又は商号	商号：株式会社ティーアンドケイ東華(T&k TOKA CO.,LTD)		

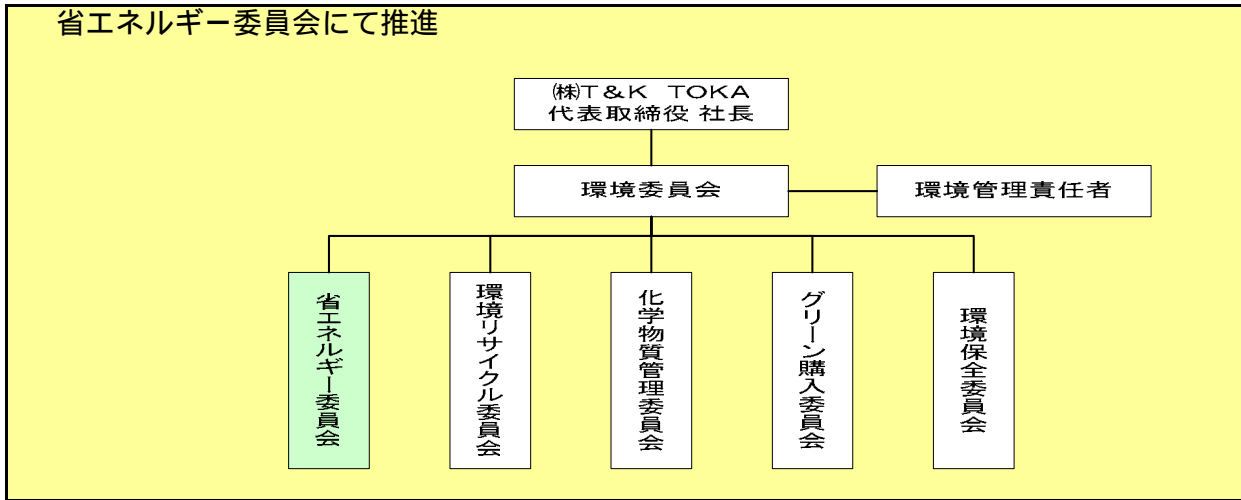
(3) 地球温暖化対策推進者(事業所に選任者がいる場合)

所属部署	電話番号
総務部	049-259-6511

2 事業所の地球温暖化対策推進における基本方針(事業所で定めている場合)

事業者用に記載済み。

3 事業所の地球温暖化対策における推進体制（事業所で定めている場合）



4 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 削減目標

計 画 期 間		22 年度	~	26 年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	(必須) 平成21年度の基準排出量を基準として、平成22年度以降の売上増加による排出量の増加に繋がりますが、平成26年度末までに581 t-CO ₂ を削減目標と致します。		
	非エネルギー起源CO ₂	(該当する排出がある場合は必須)		
	その他の温室効果ガス	(CO ₂ 以外の温室効果ガスを年間3,000t-CO ₂ 以上排出している場合は必須)		
	温室効果ガス (上記合計)	(必須) 平成21年度の基準排出量を基準として、平成22年度以降の売上増加による排出量の増加に繋がりますが、平成26年度末までに581 t-CO ₂ を削減目標と致します。		
目標削減率の概要 (C類事業所のみ)	基準排出量		t-CO ₂ /年	
	排出可能上限量 (計画期間合計)		t-CO ₂ /年	平均削減率

5 事業所の温室効果ガス排出量（Bの事業所のみ記載）

(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

			計 画 前 年	計 画 期 間					
			出 度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
CO ₂	エネルギー起源CO ₂	目標	/	9,593	9,618	9,710	9,810	9,105	
		実績	9,686						
	非エネルギー起源CO ₂	目標	/						
		実績							
	CO ₂ の合計	目標	/	9,593	9,618	9,710	9,810	9,105	
		実績	9,686						
その他温室効果ガス	メタン	目標	/						
		実績							
	一酸化二窒素	目標	/						
		実績							
	ハフルオロカーボン	目標	/						
		実績							
	パフルオロカーボン	目標	/						
		実績							
	六フッ化硫黄	目標	/						
		実績							
	その他温室効果ガス合計	目標	/						
		実績							
温室効果ガスの合計		目標	/	9,593	9,618	9,710	9,810	9,105	
		実績	9,686						

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況

CO₂換算（t-CO₂/t）

エネルギー起源CO ₂			計 画 前 年	計 画 期 間					
			出 度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	単位	目標	/						
		実績	0.5248	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	
活動規模の指標	<input checked="" type="radio"/> 生産量	tあたり		18,456	18,500	18,600	18,700	18,800	18,900
	<input type="radio"/> 出荷額	あたり							
	<input type="radio"/> 従業員数	あたり							
	<input type="radio"/> 床面積	あたり							
	<input type="radio"/> () (自由記載)	あたり							

には活動規模の指標となる単語を記入してください。例 m、t、百万円 など

その他の原単位（例：非エネルギー起源を含んだすべてのCO₂ など）を記載したい場合は、別紙4号に記載してください。

No	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	アルモファストランス導入	平成16年	
2	340500	発電専用設備、コージェネレーション設備	34_熱の動力等への変換の合理化に関する措置	コージェネシステム・ボイラーの排熱回収	平成18年	
3	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	蒸気トラップ41個交換実施	平成19年	
4	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	308台をHf型に交換	平成19年	
5	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	アルモファストランス1台更新	平成20年	
6	360700	ポンプ、ファン、プロワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	37KWコンプレッサー1台をインバーター化(3台全機インバーター)	平成21年	
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

希望者のみ記載